

問1 旧石器時代の遺跡として重要な岩宿遺跡がある県はどこ？

1. 群馬県 2. 兵庫県 3. 佐賀県 4. 奈良県

問2 旧石器時代の人々が、石を打ち砕いて作った狩りや採集のための道具を何という？

1. 打製石器 2. 鉄器 3. 青銅器 4. 磨製石器

問3 岩宿遺跡で発見され、日本に旧石器時代が存在したことを証明した石器を何という？

1. 鉄器 2. 磨製石器 3. 青銅器 4. 打製石器

問4 ローマ帝国で弾圧されていたが、後に公認され国教となった宗教は何？

1. ソロアスター教 2. キリスト教 3. ミトラ教 4. ユダヤ教

問5 メソポタミア文明で高度な数学的知識に基づき使われていた計算法を何という？

1. 20進法 2. 12進法 3. 60進法 4. 10進法

問6 マチュピチュの遺跡において、接着剤を使わずに石を積み上げる高度な建築技術を何という？

1. 石造建築 2. レンガ造建築 3. 木造建築 4. 鉄骨建築

問7 インダス文明が発展したことで知られる、現在のインドやパキスタンを流れる川を何という？

1. メコン川 2. ナイル川 3. ガンジス川 4. インダス川

問8 メソポタミア文明で粘土板に刻まれて記録や取引に使われた文字を何という？

1. 漢字 2. アルファベット 3. くさび形文字 4. ヒエログリフ

問9 イスラム教の創始者であるムハンマドが、唯一の神としてその教えを説いた存在を何という？

1. ブッダ 2. アッラー 3. ヤハウェ 4. ゼウス

問10 エジプト文明を発展させるきっかけとなった、アフリカ大陸を流れる川を何という？

1. ナイル川 2. ティグリス川 3. 黄河 4. 長江

問11 古代エジプト文明で用いられ、物の形をかたどって作られた絵のような文字を何という？

1. フェニキア文字 2. 甲骨文字 3. ヒエログリフ 4. 楔形文字

問12 儒教が日本へ仏教とともに伝わったとされる時期は何世紀頃？

1. 5世紀 2. 4世紀 3. 6世紀 4. 7世紀

問13 ローマ帝国の初代皇帝として、独裁政治の基礎を固めた人物は誰？

1. カエサル 2. ネロ 3. アウグストゥス 4. コンスタンティヌス

問14 エジプト文明で使用されていた、絵のような独特の文字を何という？

1. アルファベット 2. 甲骨文字 3. 象形文字 4. 楔形文字

問15 7世紀初めにメッカでイスラム教を開き、信者たちから預言者と仰がれる人物は誰？

1. ウスマーン 2. ムハンマド 3. ウマル 4. アブー＝バクル

問16 日本の倭の奴国王が、1世紀頃に使いを送って授かったとされる贈り物を何という？

1. 銅鐸 2. 土偶 3. 青銅鏡 4. 金印

答え合わせ・解説

問1	答え 1 群馬県	1946年、現在の群馬県みどり市付近で、偶然にも地層から打製石器が発見されました。これにより、日本列島の旧石器文化が学問的に認められるきっかけとなりました。この地は、日本の人類の起源を探る歴史の出発点として位置付けられています。
問2	答え 1 打製石器	打製石器は、石を他の石で打ち砕き、刃や尖った部分を作った道具です。投げ槍の先や、獲物を解体するためのナイフとして使われました。非常にシンプルな作りですが、用途に応じて形が工夫されており、当時の生存のための技術を象徴するものです。
問3	答え 4 打製石器	1946年、相沢忠洋が群馬県の岩宿遺跡で地層の中からこの石器を発見しました。石を打ち欠いて作った石器が発見されたことで、土器以前の石器文化が日本にも存在したことが初めて明らかにされました。
問4	答え 2 キリスト教	しかし、信者が増え続ける中で、313年に公認され、その後、4世紀末にはローマ帝国の国教とされました。
問5	答え 3 60進法	60という数字は割り切れる数が多く、分割や計算に非常に便利であったため、この計算法が発達しました。この知恵によって月の満ち欠けを元にした太陰暦が作られ、暦の基礎が整えられました。
問6	答え 1 石造建築	石造建築は、巨大な石の角を削り、隙間なく完璧に合わせる高度な技術です。この技術により、インカの建物は接着剤を使わなくても強固で、地震が起きても石同士がわずかに動くことで倒壊を防ぐ仕組みになっています。マチュピチュの都市全体がこの技術で構築されました。
問7	答え 4 インダス川	インダス川流域では、雨季と乾季のサイクルに合わせて農業が営まれました。この川の恩恵を受けることで、モヘンジョ・ダロやハラッパーといった巨大な都市が形成され、食料が安定したことで人口も増加しました。
問8	答え 3 くさび形文字	湿った粘土板に、切り出した葦の先を押し当てて記すため、線がくさびの形になるのが特徴です。当初はものの形を模した絵文字でしたが、次第に抽象的な記号へと変化し、複雑な契約や王の記録を書き記すために活用されました。
問9	答え 2 アッラー	ムハンマドは、メッカで瞑想中に唯一神アッラーの啓示を受けたとされ、偶像崇拜を否定し「アッラーのほかに神なし」と説きました。この教えは、神の前での平等を説いたため、多くの人々に受け入れられました。
問10	答え 1 ナイル川	ナイル川のこの性質により、川沿いでは古代から安定した農業が営まれました。毎年決まった時期に氾濫するため、人々はいつ種をまき、いつ収穫すべきかを知るための暦を発達させる必要がありました。これにより文明が発展しました。
問11	答え 3 ヒエログリフ	ヒエログリフは、鳥や人などの形をそのまま写した文字で、神殿の壁や石碑に多く刻まれました。「聖刻文字」とも呼ばれ、特定の神官や書記によって使用される特別なものでした。
問12	答え 3 6世紀	百済からの使者が仏教の経典や仏像を伝えた際、同時に中国の書物である儒教の経典なども持ち込まれたと考えられています。
問13	答え 3 アウグストゥス	アウグストゥスは内乱を収め、元老院から尊厳ある者（アウグストゥス）の称号を受け取りました。形式上は共和政の伝統を残しつつ、実質的な独裁権を握って行政や軍を支配する体制を整えました。
問14	答え 3 象形文字	象形文字は、身近な事物や動物をモチーフにした絵文字に近い文字です。神殿の壁画やパピルスなどに刻まれ、主に祭祀や歴史記録のために使われました。また、当時の王の墓であるピラミッドにも多くの記録が残されています。
問15	答え 2 ムハンマド	ムハンマドは、唯一神アッラーの啓示を受けたとされ、偶像崇拜を否定し、神の前での平等を説きました。メッカの支配層から迫害を受けましたが、メディナへ移住して勢力を拡大し、ついにメッカを征服しました。彼の言動や教えは聖典『コーラン』にまとめられています。
問16	答え 4 金印	金印は、福岡県の志賀島で発見されたとされる、金で作られた印章です。「漢委奴国王」という文字が刻まれており、当時の倭の王が中国の皇帝から冊封（さくほう）体制の一部として認められた証拠と考えられています。